

精華町教育委員会会議録

平成28年（第11回）

- 1 開 会 平成28年11月30日(水) 午後2時00分
閉 会 平成28年11月30日(水) 午後3時20分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長

3 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 山崎学校教育課主幹
(欠席：仲村生涯学習課長)

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第11回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成28年第10回教育委員会及び平成28年臨時第3回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし

【採 決】

- ・全員承認

(3) 教育長報告事項

第2回総合教育会議を12月2日(金)の10時から、町長主催で開催することとなった。来年度の予算編成期を迎えており、来年度に向けての教育行政の重点施策について意見交換したいとのことである。教育委員の皆さんには10月以降、町内小・中学校視察の結果も踏まえ、これからの本町の教育の進め方について積極的な意見交換をお願いしたいと思っている。

(4) 議決事項

議案第18号 平成28年度精華町議会定例会12月会議提出議案に係る意見
聴取について（平成28年度精華町一般会計補正予算（第6号））

教 育 部 長 【提案説明】

平成28年度精華町一般会計補正予算（第6号）について、小学校費における要・準保護児童就学援助事業に関して、当初見込みの援助対象者160名から43名の増加が見込まれるため、所要の経費について240万円の増額補正計上を行うものである。次に中学校費における教育環境整備事業に関しては2億9,500万円の増額補正を行うものである。内訳は、国庫支出金が5,414万6,000円、地方債が2億4,080万円、一般財源が5万4,000円である。事業の目的及び内容については、現在進めている空調設備の整備に向けた小中学校の設計業務に加え、町内3中学校の普通教室等、全110室に空調設備を整備するもので、設置工事請負費で2億9,000万円、工事管理委託料で500万円である。これについては、去る8月2日に閣議決定された、国の経済対策に伴う平成28年度一般会計第2次補正予算により、この間、本町より要望を行っていた事業が交付金の内定を得ることが出来た為、所要の経費について増額補正を行うものである。この事業については、全額を次年度へ繰り越し、工事自体は平成29年度に実施するもの。

【委員の意見】

伊藤委員長 この間、教育委員会の中でも議論してきたが、いよいよ中学校から始めることになるのか。

教 育 部 長 これまでの方針どおり中学校を先行して実施する。設計については今、中学校、小学校を並行して進めている形になっており、加えて工事についても、国の交付決定を受けたので、今回の補正計上するに至った。

中 谷 委 員 中学校を先行整備した後に小学校の整備を行うとのことであるが、小学校の実施時期になれば児童数の減少も考えられ、余裕教室が出てくる可能性もある。その余裕教室にも整備を

行う予定なのか。

学校教育課長 中学校が完了した後は続いて小学校の整備となる。この先数年では大きな学級数変動もなく中学校と同様に全普通教室に設置を考えている。

中谷委員 学校におけるエアコンの温度調整はどのように行うのか。

学校教育課長 集中管理を行い、その運用にあたっては使用基準を設ける予定である。また、運用後の電気代も大きく増加することが懸念される。適正な運用に努める仕組み、ルール作りが必要であると考えている。

蓑毛委員 要・準要保護の人数が43人増加しているが、どういう理由からなのか。

学校教育課長 1つは入学された方に申請者が多かったこと、また母子家庭などの転入により増加した。ホームページや広報での周知、また、転入がある場合には窓口でも本制度の周知を行うなど様々な形で就学援助制度についてお知らせしているのも一つの利用の増加につながっているのかと分析している。

細川委員 金額的に他自治体と比べてどうであるか。

学校教育課長 金額の基準となるものも他自治体とそれほど変わらない。

蓑毛委員 本町の援助率はどれくらいか。

学校教育課長 援助率も全国・府の平均に比べても低い。28年の5月1日現在で、要・準合わせて小学校で9.2%、中学校で8.7%、であった、全国平均は平成25年度で15%程度である。

(採決 - 全員挙手により原案どおり決定)

(5) 諸報告

教育部長 1 12月会議に提出予定の教育委員会関係議案について

議案第67号は、精華町教育委員会委員の任命同意を求めることについて、松本秀男様を新たに教育委員として迎える

ための任命同意を求める件である。

議案第68号は、精華町教育委員会委員の任命同意を求めることについて、新司英子様を新たに教育委員として迎えるための任命同意を求める件である。

議案第69号は、精華町教育委員会教育長の任命同意を求めることについて、太田信之様を新教育委員会制度における教育長として迎えるための任命同意を求める件である。

議案第80号は、東光小学校コンピュータ備品の取得について、今年度、備品購入した東光小学校のタブレット型コンピュータ等の財産取得の議決を求める件である。今回の取得金額は429万8,400円、相手方は株式会社ライオン事務器大阪本店であった。

タブレット型コンピュータの整備については、一昨年 of 精北小学校、昨年 of 山田荘小学校に続くもので、班別学習あるいは教材や動画の提示、調べ学習や運動の様子をその場で再現するといったことに活用していただいております、効果としては、視覚的に提示ができることから、興味、関心を高めやすく、分かりやすい授業が行えるということであった。一方で、課題としては、苦手意識の克服のための教職員の意識改革や、教職員研修の充実などが挙げられている。

児童、教員、保護者のそれぞれの反応についてであるが、児童についてはスムーズに活用できているようである。特に家庭においてタブレット型コンピュータの所有の有無により児童たちの操作や理解度の差については、一番気になるころではあるが、現在そういった格差を感じることはないと聞いている。教員についても導入を歓迎しており、保護者の方々についても、比較的良好な反応であると聞いている。

教育部長 2 平成28年度精華町議会定例会の12月会議について

現在、議会運営委員会が開催している最中であり、その場で日程及び一般質問の内容等について議論されているとの事であるので、この教育委員会の終了後にその内容が判明して

いれば、改めて報告したい。

教育部長 3 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育に関する事務の執行状況についての点検及び評価について

平成27年度精華町教育委員会評価報告書について、教育委員会の活動状況、教育関係の施策別、事業別の自己評価書をまとめた。

また、これと併せて第三者による事業評価では、学識経験者として学校教育分野では木村勝様に、生涯学習分野では河村年郎様にそれぞれ点検、評価のお願いをした。全体的には、家庭や地域との協働を進め教育効果を高めたことや、むくのきセンター及び体育施設に指定管理者制度を導入し円滑な運営ができている点について評価頂いた。一方では、中学校の2学期制の再検証や空調設備の整備の遅れ、あるいは町民運動会の再考について指摘等、事業に関する評価と今後の課題解決に向けての指摘をいただいた。

なお、この報告書については、12月会議における総務教育常任委員会でも報告する予定である。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

「悪質ないたずら・不健全な遊び」について1件、18の「その他」について2件報告あり。

不登校については、9月と変わらずの12名であったと報告を受けている。

(2) 中学校

小学校と合わせて、中学校の生徒指導については報告件数が非常に少なく、安定した学校生活を送っているようである。「その他」で3件、不登校については、中学校25人とのことで、前月は24人であった。

総括指導主事 2 相楽地方小学校駅伝（持久走）大会について

11月12日に不動川公園で行われた小学校駅伝について、第2位が精北小学校、第3位が精華台小学校Aチームという

結果であった。上位 8 チームが 1 2 月 3 日の土曜日に開催される「やましろ未来っ子 E K I D E N」に出場する。

持久走レースについては、駅伝に出場しなかった児童だけで持久走の競争をしたとのことである。精北小学校の女子児童が優勝、山田荘小学校が 2 位、4 位が東光小学校と、非常に健闘した。

総括指導主事 3 第 1 回学期制の在り方懇談会について

趣旨の説明、状況の変化も含め、保護者と意見交流を行った。今回については、保護者、P T A、学校からの意見が中心であり、次回までに再度それぞれの学校の意見や保護者の意見を集約していただき、次回はそれを基に交流するという会議にしたいと思っている。

出された意見の中では、早急に 3 学期制に変えてほしいという強い要望は無かったが、子供は順応性が高いので 2 学期制でも 3 学期制でも対応できるとの事であった。2 学期制は 2 学期制の課題があり、それを良い方向に持っていくためには、3 学期制も一つの方法であると聞いている。また、2 学期制でテストの間隔が長い等の意見も聞いており、様々な意見が出た。

今後の方向としては、1 2 月 2 1 日に第 2 回目の懇談会を開催し、各校からの意見を持ち寄ってもらう。学校によっては P T A 主催でアンケートをとる所もあれば、P T A 役員同士での会議を開くという学校もあり、さまざまな形で各校の意見を出してもらう事となる。さらに、1 月に入ってから約 1 カ月間パブリックコメント行う予定で、各学校からの学校だより、町広報誌「華創」等でお知らせするなど広く意見を集約したいと考えている。そのパブリックコメントを受け、2 月中旬から最終の意見集約をし、まとめを行いたい。そして、2 月下旬から 3 月の総合教育会議での意見も踏まえ、今後の学期制のあり方について明確にしていきたい。

学校教育課長 1 平成 2 9 年度予算要求について

1 1 月 2 2 日に平成 2 9 年度の予算要求書を財政課に提出

し、11月25日に財政課、総務部次長及び企画の総務部門のヒアリングを受けたところである。

大型事業については、本来ならば先ほど承認いただいた中学校への空調設備の設置が平成29年度の要求の目玉となる予定であったが、今回前倒しで補正予算を計上する事となったため、特に大型事業はなくなった。

ソフト事業については、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進部分に関して、引き続き企画部門で事業を進めてもらい、教育委員会としては協力しながら従来からの理科教育の推進を引き続き充実していきたいと考えている。特に予算として見える形とはなっていないが、引き続き町長部局と連携していきたいと考えている。

学校の人的支援として、従来から普通学級にも様々な課題がある子供がいることから町単独で配置している支援員や介助員については、学校からの要望を精査の上、所要の額を要求したという状況である。併せて、校外学習や修学旅行の際、保健室に養護教諭が不在となる場合に看護師を雇用する予算が昨年から予算化されたが今回も確保したく、要求を行った。また、いじめ対策に関連して、小学校へのスクールカウンセラーの配置継続の要求も行った。学校図書館司書については、小・中学校長から回数増加の要望があり、厳しい財政状況であるがそういった声を届けたいと考えている。

施設関係では主に老朽化対策について、抜本的な改修については、今後学校施設の長寿命化計画を策定し、それを基本に順次進めていくこととなるであろうが、特に精華南中学校や山田荘小学校に関しては、かなり老朽化しており、子供達にとって危険で放っておけない部分には優先的に対策していきたいとの事で拾い出しを行い、学校との調整の上で要望している。

教育委員の学校訪問を受け、課題にも挙がっていた山田荘小学校や精北小学校等のトイレについて、洋式化や抜本的な改修を行うのは費用を要するため、臭いを抑える専門の薬剤

を購入し、維持管理の手助けをしたいと考えている。

清掃関係について、子供達は日常的に、教師は長期休みに清掃を行っているが、専門的な業者による定期清掃も行っていきたいとの事で予算を要求しているところである。

学校での様々問題事象において法的な対応を求められる場面も出てきていることから、教育委員会でも町と同じように弁護士に相談できる体制を取るべく、所要の経費について町長部局へ調整を図っている所である。

学校教育課長 2 冬季食中毒注意報の発令について

今年度初めての冬季食中毒注意報が11月28日、山城南部地域に発令された。感染性胃腸炎の定点当たりの患者報告数が10人を超えた場合が発令基準の一つであり、11月14日から20日の1週間で、府南部地域では13.33という定点当たりの人数が出たことにより発令された。特にノロウイルスに注意しようとの事で、学校に対して啓発を行っている。翌年3月末までの間において基準値を下回るまでは、注意報が継続されるという状況である。

学校教育課長 3 精華町安全・安心まちづくり会議の第2回定例会について

11月28日午後2時から華町安全・安心まちづくり会議の平成28年度第2回定例会を開催した。教育部からも、教育長、教育部長、私が参加し、平成28年度上半期の取り組み状況、下半期の取り組み予定について、関係課と警察とで情報交換を行った。特に地域安全対策や不審者対応、少年対策、いじめ、非行等の関係、またこの間、通学路に関係する事故も起こってきており、交通安全対策についても情報交換を行った。

(以下、生涯学習課長欠席の為、教育部長が生涯学習課長にかわり報告する)

教育部長 4 平成29年度予算について

基本的には平成28年度と大きく変更した点はないが、むくのきセンターの上部利用に関連し、むくのきセンターに防火区画を設置するため必要な経費についての要求を考えている。これまでの地元への対応についても、出来るだけ要望を

実現するという事での第一歩となる。

教育部長 5 2016年のチャリティーフェスティバルについて

12月4日に精華町の文化協会主催イベントの2016年チャリティーフェスティバルが開催される。場所はむくのきセンターで、午前10時から開始される。基本的には舞台発表が中心で、あわせて2階には一部展示コーナーを設けるとのことで、6月のときよりも少し規模的には小さいということであるが、各種団体が様々な催し物をされるということであるので、時間があれば一度覗いていただきたい。

教育部長 6 打越台テニスコートの工事について

予定では工事が明日からいよいよ始まる。この間、総合教育会議でも色々と議論し、その実現に向けて取り組んできた成果が、ようやく形となって見えてきた。まずは照明設備から取り掛かる予定で、年内には完成する見通しである。年明け早々から利用開始を目指し進めていく予定である。

【委員の意見等】

中谷委員 学校のトイレに関して、専門業者による定期清掃という話があったが、具体的にはどういった事をするのか。

学校教育課長 日常的には薬剤を使ってもらおうと思うが、トイレの尿石を取ったり、根本的な排水の掃除を考えている。専門的な業者が行っているところが近隣でもあると聞いており、具体的にどの程度までやってもらえるか分からないが、所要の要求をしている。

伊藤委員長 今や洋式トイレの家庭がほとんどだと思うが、学校のトイレの洋式化について保護者や子供たちから具体的に話は出ているのか。それとも、学校にいる間は辛抱できるから辛抱しているのか。

蓑毛委員 子どもが小学校に上がって、できなくて帰ってくると言う話を聞いたことがある。

細川委員 先日、学校訪問を行った中で、トイレの改修については大きな課題と認識しているが、経費はどのくらい必要なのか。

学校教育課長 試算の段階であるが、1つ和式を洋式にかえるだけでも6、70万円かかるようで、各階ごとに男女1つずつぐらいは整備したい思いはあるが、全学校となると多額の費用がかかる。

伊藤委員長 この近隣の小学校で、洋式トイレの整備はどのような状況か。
教育部長 近隣市では各校何か所設置したか不明であるが全校完了したとのことである。

伊藤委員長 我々が学校訪問した中で一番気になったのは、山田荘小学校と精北小学校のトイレである。トイレの汚れや臭いがあることもさることながら、洋式のトイレが存在しない事で子供たちがいかに健康状態を害してるかということ、受けとめてほしい、総合会議でも主張したい。一度に全部のトイレを整えてほしいとは言わないので、せめて1カ所や2カ所ぐらいは責任を持って、来年度の予算内に入れてくれないかと強く要望したいという気持ちがある。

学校教育課長 来年度は空調整備等もあり、洋式トイレ化の改修は難しく、薬剤と清掃でもう1年検討させてもらいたい。

学校教育課長 今回東光小学校においてコンピュータの備品取得ということで議会に上程するが、校長会教頭会でも、各学校の状況をいろいろ聞いており、やはりこれからの時代は、こういったコンピュータ機器を授業でも出来るだけ取り入れていきたいという現場の声もある。その辺りで意見を頂きたい。

細川委員 先生個人のタブレットを利用して授業を進めているという話も聞く。

学校教育課長 教育委員会のほうで出来るだけ、計画を持って整備をしていきたいと考えている。

中谷委員 多くの授業で画面を見ながら行うことが出来るということは考えられるので、授業を作っていくという意味では非常に可能性は広がると思う。

細川委員 タブレットを導入しても更新サイクルが早い。リースなど活用出来ればよいのでは。

学校教育課長 リースによる整備を行っている自治体もあるが、本町では防衛省の交付金を使わせていただいている。今後そういった手

法も考えないといけないと考えている。

中谷委員 タブレットで、各学校とのテレビ会議のような交流はできるのか。

学校教育課主幹 技術的には可能である。以前に研究指定を受けていた時には、田辺高校の教師が東光小学校の生徒の遠隔授業を行ったり、他国との交流を行ったりしていた。

中谷委員 テレビ会議などを利用する場合には、一方的な講義スタイルよりも、双方向で交流出来るような活用方法が望ましいと思う。

蓑毛委員 障害のある子にぜひとも使ってもらいたい。言われてることが分からなくても、視覚から入ると理解しやすいので、もっと活用してもらえたらいいと思う。デジ教科書の導入もお願いしたい。

教育部長 デジ教科書も次年度、試行的に導入をしていきたいと考えており、どこでそれをやるのかについては検討中である。

伊藤委員長 不登校や入院していたり等、学校に行けない子にタブレットを使いながら学校の学習ができるような利用の仕方が出来ればよいのでは。

細川委員 デジタル機器関係のアドバイザーはいるのか。

学校教育課長 技術的支援者が1名、授業補助が1名で各校を巡回している。

伊藤委員長 先生方の多くはそのタブレットを使いこなせているのか。

太田教育長 学校現場では若い先生が多く、比較的情報機器を活用した授業が展開できていると思う。

(6) 後援関係

10月から11月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数10件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が10件、うち社会教育係関係が10件、図書係は0件、社会体育係関係は0件。

(7) 12月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第11回教育委員会の閉会を宣言。